

令和5年度第3回岩手県地域公共交通活性化協議会沿岸地域別部会 議事要旨

1 日時

令和5年12月20日（水） 13：30～14：40

2 場所

釜石市（釜石地区合同庁舎 4階 大会議室）

3 主な議事内容

- (1) 次期地域公共交通計画の素案について
- (2) 今後の進め方について
- (3) その他

4 主なご意見等

- (1) 次期地域公共交通計画の素案について
 - ・ 素案6ページの図で、デマンド交通（予約制乗合タクシー）とデマンド交通等という2つの文言があるので、統一した方が良いのではないかと。また、125ページの「本計画における基本方針」について、体制づくりの中に「財政支援」を記載して良いのではないかと。

確認事項としては、78ページの自家用有償旅客運送は県内の件数か。

また、90ページの越喜来地区デマンド交通は県補助が令和4年度までとなっている。現在進行形のような文章の記載であるが、補助路線として記載するのか。

⇒ 文言等については、全体のバランスを見ながら整理をしていく。

78ページについては、県内の数値となっており、分かりやすくなるよう記載を検討したい。90ページについては、現時点で直近の実績である令和4年度実績ベースで記載しているが、最終案では、令和5年度実績ベースに更新を予定している。（事務局）
 - ・ 113ページの国の動向に、ライドシェアを記載した方が良いのではないかと。

⇒ ライドシェアについては、現在国で検討を進めているもので、報道ベースではあるが、タクシー会社の運行管理の下で、都市部、観光地などのタクシーが不足する地域・時間帯で一般ドライバーによる運行を行う制度を検討していると聞いており、地域内での移動手

段となると想定している。本計画は広域移動を対象としており、制度の詳細も現時点では不明確であるため、国の議論を注視し、計画への記載の必要性を検討していきたい。(事務局)

⇒ ライドシェアは地域内の移動手段であるかもしれないが、県民の足の確保という観点からは重要ではないか。

⇒ 国において検討中であり、どういった内容になるのかを確認した上で、計画への記載の必要性を検討していきたい。(事務局)

- ・ 128 ページに記載の「広域的なバス路線の収支率」は、実現可能な見込みか。また、「広域的なバス路線への公的資金投入額」は、公共交通をライフラインとして支援していく流れがある中で、維持で良いのか。「県民意識調査における公共交通満足度」については、満点はいくつとなるのか。各指標について、達成率などを管理するのか。

⇒ 「広域的なバス路線の収支率」「広域的なバス路線への公的資金投入額」は、計画策定における国庫補助要件として設定を求められているもの。公的資金投入額について、増加、減少のどちらを目指すのか国の要綱や手引き等には示されていないが、需要に見合った路線の見直しや利用促進などの取組により、路線の生産性を向上させ、自律的な運行が可能となる状態を目指していくものと考えている。また、県民意識調査における満点は5点となるため、分かりやすいように記載を検討したい。各指標については、毎年度、目標値に対しての進捗率を評価し、計画最終年度に、最終的な達成状況を評価する予定としている。(事務局)

- ・ 本市では地域公共交通計画の策定作業を進めており、AI デマンドの導入やスクールバスとの混乗などを位置付ける予定。今後市町村でのデマンド交通の導入等が増えていくと考えている。デマンド交通等の地域内交通は市町村の役割であると思うが、県としても市町村を応援するという方向性を明確に記載できないか。

⇒ 県としては、市町村のデマンド交通等の実証運行に対する補助や、有識者の派遣、研修会の開催などを想定しており、計画にも事業として記載しているところ。(事務局)

⇒ 有識者派遣の実績はどの程度か。

⇒ 令和5年度は、遠野市に対してデマンド交通の再編に向けた派遣や、今後、住田町の地域公共交通計画の策定に向

けた派遣を予定している。令和4年度は、盛岡市、滝沢市、矢巾町で広域的な地域公共交通計画の策定を進めるに当たって、他地域における同様の事例の知見を持った有識者の派遣を行ったところ。(事務局)

- 14 ページ以降の市町村間流動などは、どのように整理したのか。
 - ⇒ 14 ページ以降の通勤、通学流動などは令和2年に実施した国勢調査の結果に基づき、地図上に各市町村間の流動をマッピングしたもの。これに加え、県で昨年度整備した人流のビッグデータ分析ツールを使い、携帯電話の位置情報に基づく人流を30 ページ以降で整理している。(事務局)